



とよかわの

みつけた!



## 砥鹿神社の例大祭 流鏝馬の少年たちの物語

太鼓を合図に流鏝馬やぶさめが始まります。12頭の馬にまたがる武者は、主に小学校高学年から高校生までの少年たち。金銀の蒔絵を施した馬具を着け、5色の布引をなびかせ、約200疋ふだの馬場を手放して疾走する姿は、実に勇敢です。砥鹿神社の例大祭流鏝馬の神事は、400年以上の歴史があり五穀豊穡ごこくほうじやくを願う華やかで勇壮な儀式です。

流鏝馬の馬場は、通常道路として利用されている道に、20疋ほどの土を盛り作ります。学校名と名前を呼ばれた少年たちは、順番に馬場を5往復します。当日、不機嫌な馬や順番が来てもなかなか走り出さない馬に手こずりながらも勇敢に目の前を走りぬけていく姿は、迫力満点です。流鏝馬に参加する少年たちは、最低でも1年前から自分が騎乗する馬の世話をし、練習を積み重ねます。そこには、馬と信頼の絆をつくるため、いくつかの物語があります。こうした少年たちの物語を知らない方も多いのではないのでしょうか。疾走する流鏝馬の神事は、5月4日（水）午後4時から行われますので、ぜひお出掛けください。

